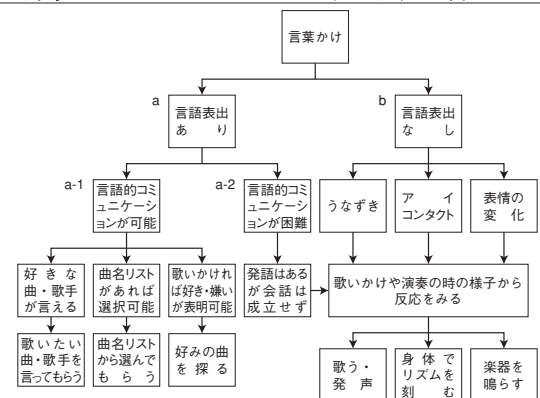


# 「統合医療 理論と実践」正誤表

	誤	正
<p>Part 2. 286頁 13～29行</p>	<p>◎高齢者の音楽療法</p> <p>前出の調査<sup>14)</sup>では、認知症を対対象者との関わりから支援の方法に到達するまでの道筋<sup>15)</sup>を、やはり音楽療法の主要な対象の一つです。また、高齢者の場合は認知症予防や加齢による機能低下などにも言及されます<sup>17)</sup>。佐々木らは、認知症をもつ人々に対して、図1のような音楽療法アプローチを考案しており<sup>18)</sup>、その役割を予防、リハビリテーション、ケアに分けて整理し、リハビリテーションではタウトらによる神経学的音楽療法などを推奨し、ケアにおいてはありのままの姿で、なおかつより良く生きていくことを支援するといった目標を上げてBPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) の軽減に向けた音楽療法の可能性に言及しています。</p> 	<p>◎高齢者の音楽療法</p> <p>前出の調査<sup>14)</sup>では、認知症を対対象者との関わりから支援の方法に到達するまでの道筋<sup>18)</sup>を、やはり音楽療法の主要な対象の一つです。また、高齢者の場合は認知症予防や加齢による機能低下などにも言及されます<sup>17)</sup>。佐々木らは、認知症をもつ人々に対して、図1のような音楽療法アプローチを考案しており<sup>18)</sup>、その役割を予防、リハビリテーション、ケアに分けて整理し、リハビリテーションではタウトらによる神経学的音楽療法などを推奨し、ケアにおいてはありのままの姿で、なおかつより良く生きていくことを支援するといった目標を上げてBPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia) の軽減に向けた音楽療法の可能性に言及しています。</p> 